



## — 御 礼 —

2023年12月～2024年1月にかけて実施した「冬の食料支援」について、2024年1月20日をもって、無事に全ての対象世帯への発送を完了しました。

実施のためにご支援をいただいた全ての皆様へ、改めて深く御礼申し上げます。

本支援事業の実施概要とともに、支援を受けられたご家庭からの声、また実施する背景となったご家庭の状況調査結果につきまして、次頁よりご報告いたします。

認定 NPO 法人キッズドア事務局

# 1. 実施概要


当事業は、キッズドアファミリーサポートの登録世帯を対象に実施しました。

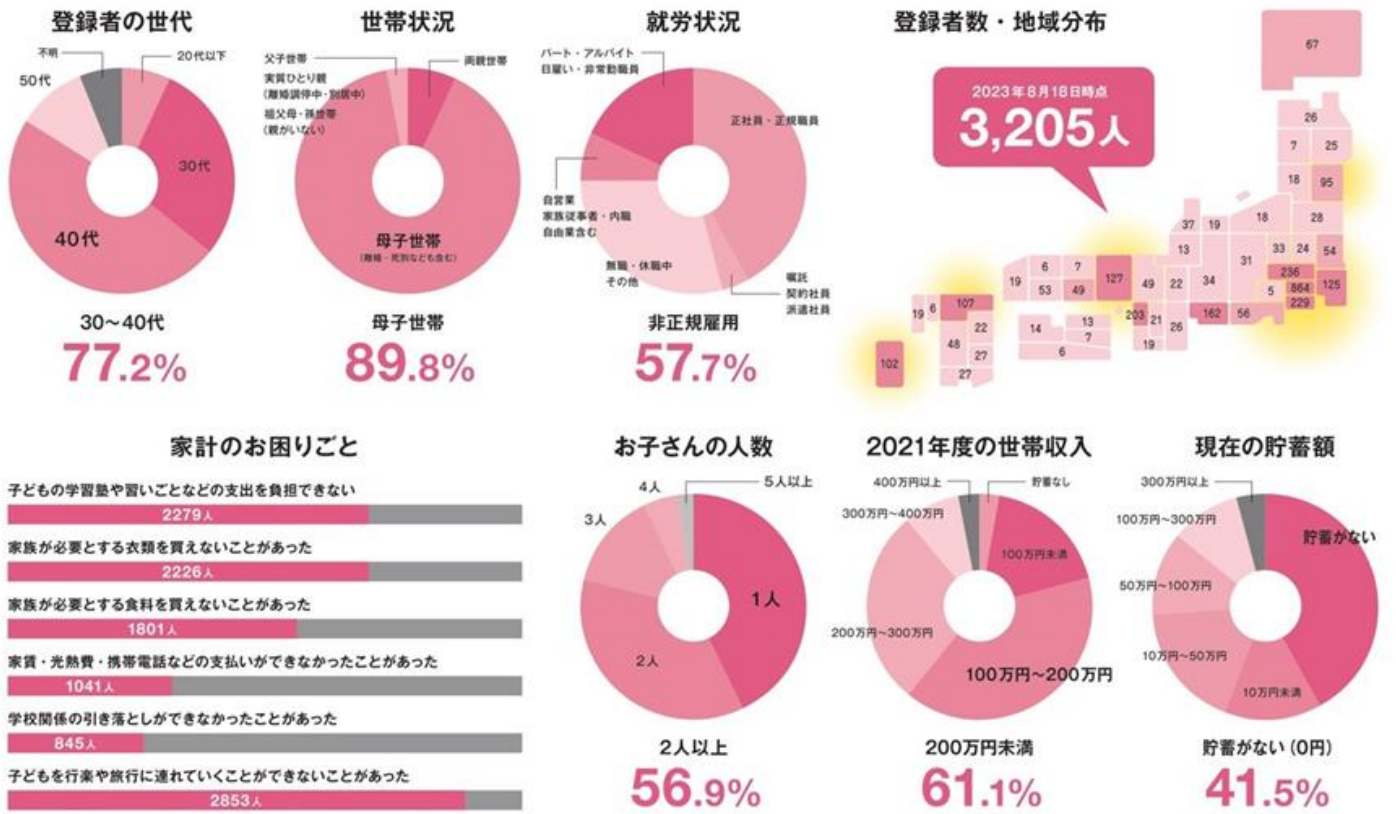
キッズドアファミリーサポートは、全国の困窮子育て家庭が登録可能な支援サービスです。登録世帯に対して、食品や文具などの「物資支援」、奨学金や行政の給付金などの情報や体験機会を届ける「情報支援」「体験活動」、より生活を安定させるための「就労支援」等を行っています。

2024年1月時点では約4,000世帯が登録されていますが、常に増加傾向であり、多くの家庭が様々な支援を必要としています。



(2023年8月時点の登録世帯情報)


**キッズドアファミリーサポート** | 全国の困窮子育て世帯に支援を通じて希望を届ける
 
 就業支援 | 情報支援 | 物資支援 | アドボカシー  
 2023年8月18日時点



## 「2023年度 冬の食料支援」実施概要

### 【スケジュール】

- ◆ 申込受付：2023/11/10～2023/11/16
- ◆ 食料配送：2023/12/8～2024/1/20

### 【支援世帯数】 **2,605世帯**

(申込対象世帯数全てに配送)



### ＜内訳＞

- ◆ ご寄付による支援：1,931世帯 (経費：¥13,030,075- ※食品手配・配送料等含む)
- ◆ 助成事業による支援：674世帯 (「ごはん応援プロジェクト」および「食育プロジェクト」)

### 【食料品の例 (ご寄付による支援)】

#### ＜常温品＞

- お米 2kg×2
- そば (乾麺)
- 切り餅 もしくは レトルトカレー2パック 等

#### ＜冷凍品＞

- 肉団子 1kg (60個)
- オムライス 250g
- 鶏唐揚げ 1kg 等



#### 新たな食品ロスの取り組み

食品ロスを削減する目的で、賞味期限を経過した冷凍食品を追加で無償提供いただきました。予め支援対象のご家庭へ了承を得たうえで、一部ご家庭へお届けしています。

実際に受け取られたご家庭からも、品質として全く気にならなかったという意見が多数を占めています。

## ご支援いただいた企業・団体様

- 株式会社食文化 様
- 株式会社理想実業 様
- 日本たばこ産業株式会社 様
- 株式会社ハウセット 様
- 株式会社K.U.S.ロジスティクス・サポート 様
- 株式会社ハースト婦人画報社 様
- エム・エル・ビー・ジャパン株式会社 様
- ユナイテッド株式会社 様
- Newton Information Technology Ltd.様
- 株式会社ロッテホールディングス 様
- GLOBE AIR CARGO合同会社 様
- 日本ケロッグ合同会社 様
- プルデンシャル・ホールディング・オブ・ジャパン株式会社 様
- 株式会社内田洋行 様
- ジブラルタ生命保険株式会社 様
- 公益財団法人信頼資本財団 様

(順不同)

(食料を受け取った子どもたちの様子)



## 困窮世帯から寄せられたメッセージ

今回もたくさんの食材をいただきありがとうございました。毎回子どもたちとワクワクしながらダンボールを開封し、歓喜をあげています。毎回皆様のお陰で助けて頂いていることを話しながら食べています。本当にありがとうございました。

こんにちは。いつも助けていただきありがとうございます。常温品と冷凍品を受け取りました。冷凍品だとたくさんの量の食事を子供達が満足するまで食べさせてあげることが出来て本当に嬉しかったです(^^)常温品もたくさん送ってくださり大変助かります。お米は大きな出費なのでお米だけでもめちゃくちゃ嬉しくなります。ありがとうございました！

このたびは、冷凍品などたくさんの食品をありがとうございました。物価高、電気代の高騰など苦しい現状のなか大変助かりました。また、なかなか外食に行くのもためらってしまうので、ラーメンチケットがとても嬉しかったです。子どもと行くのが今一番楽しみです。

いつもはプライベートブランドや見切り品を買うので、普段食べられないような有名メーカーの食品が食べられることに感動しました。子どもたちは好き嫌いが無いので全ておいしく、三人で楽しく食べました。ありがとうございました。



【2023 年末食料支援】  
ぜひご感想やメッセージを  
ご自由にお書きください！



この度は、たくさんの食料品をご提供くださり  
ありがとうございました。全国の皆様からの善意を  
大変嬉しく思っております。  
中学生と高校生の2人の子供は食べ盛りで、いつ  
も部活から帰ってきたら「お腹空いた〜」夕飯をし  
かつ食べても「まだ何か食べたい」と常にお腹が空  
いています。今までも安量を重視して食品を購入  
していましたが、物価高騰で「以前と同じような  
買い物は出来ず、セール品を狙って買い物したりと  
工夫してもとても苦しい状況にあります。  
食料だけでなく色々暮らして生きていくだけで本当  
に厳しいと痛感しています。苦しい、辛い、泣きたいよ  
と日々減っていく毎日  
KIDSDOOR  
認定NPO キッズドア  
ですが「がんばっているみなさまを応援しています」と  
いう言葉が添えてあり、涙があふれました。(表へ)



【2023 年末食料支援】  
ぜひご感想やメッセージを  
ご自由にお書きください！



この物価高で、でもお金もなく、子ども  
2人を育てていくのは、本当に大変...。  
少しの戸建てオーバーで、手当もうければ  
でも働かばい生活できない...。  
このままなら生活保護を受けた方が  
豊かに過せるのではないか...。  
と最近考えてしまっています...。  
働かばいければ教育の支援も受け  
れる...。色々つらいです...。  
KIDSDOOR  
認定NPO キッズドア

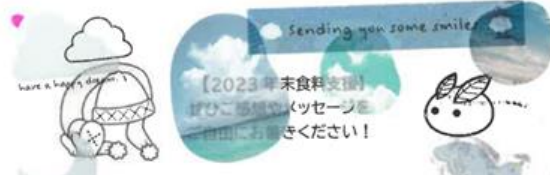




【2023 年末食料支援】  
ぜひご感想やメッセージを  
ご自由にお書きください！



年末食料支援 ありがとうございます。  
ほぼすべての物切が物価高騰している  
今年の年末は本当に家計が圧迫しており、  
食費も今以上に節約し生活している中  
食料支援をしていただき、本当に感謝しか  
ありません。子供たちもまるで宝箱を開けるか  
のようにワクワクしながら箱の中を見て  
います。「これがおいしい」の食卓が「これもあるよ」  
の食卓になり、お腹いっぱいにも幸せいっぱい  
にいられます。本当にありがとうございます。  
KIDSDOOR 認定NPO キッズドア



Sending you some smile.  
【2023 年末食料支援】  
ぜひご感想やメッセージを  
ご自由にお書きください！



食料品が 自宅へ届きました。  
今年ほど、うれしかった年はないかも  
しれません。物価高でいろいろなもの  
が高くは、肉も魚も買うことを  
躊躇う可巧には、スーパーに行く  
たびに「はあ」とため息かたてています。  
そんな中、自宅へ支援が届き、ほんと  
気持ちがいいです。本当にうれしかったです。



KIDSDOOR 認定NPO キッズドア

いつもありがとうございます。



【2023 年末食料支援】  
ぜひご感想やメッセージを  
ご自由にお書きください！



食料のご支援、本当にありがとうございます！  
物価高騰で、食品を買うことをためらっている中、  
届いた食料に助けられています。届くのは  
「物」ですが、同時に「人の優しさ」支えられている  
という安心感”をいただいている気がしています。  
いつもありがとうございます。  
大事にいただきます。  
※ 神座のラーメンチケット、うれしいです！ありがとうございます！！  
※ 賞味期限切れの食料品、私は気にはならないので、  
その際はパッケージがふたにらいいのでは？と思います。  
気にしませんが、他にもいるのではなにかを思っています。  
今後もしよろしく願っています。

KIDSDOOR 認定NPO キッズドア  
キッズドアの皆様、お身体に気をつけて  
お過ごしください！よいお年をお迎えください。

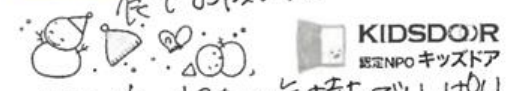
お正月におもちを食べさせてありがとうございました。



【2023 年末食料支援】  
ぜひご感想やメッセージを  
ご自由にお書きください！



お米、お肉、おもち、おそば  
その他にもたくさんいただき  
ありがとうございます😊  
食べ盛りの子どもたちにお肉  
を夕方に食べさせてあげる事  
ができました！！常に金欠  
で、うどん、パスタ、具なしラーメン  
で1月のほとんどをしのいで  
いました。子どもたちには、給  
食でお腹いっぱいにしてもらい  
毎日申し訳ない気持ちでいっぱい  
です。



KIDSDOOR 認定NPO キッズドア

## 2. 支援を実施した背景(調査結果)

### 2023 冬 困窮子育て家庭アンケートレポート(概要)

#### ■調査概要

目的：物価高騰が子どもや生活に与えている影響、不登校の状況、政策に対する個人の考えなどを調査することで、困窮子育て世帯の実態と支援ニーズを明らかにし、本当に必要とされる支援の実現につなげる。

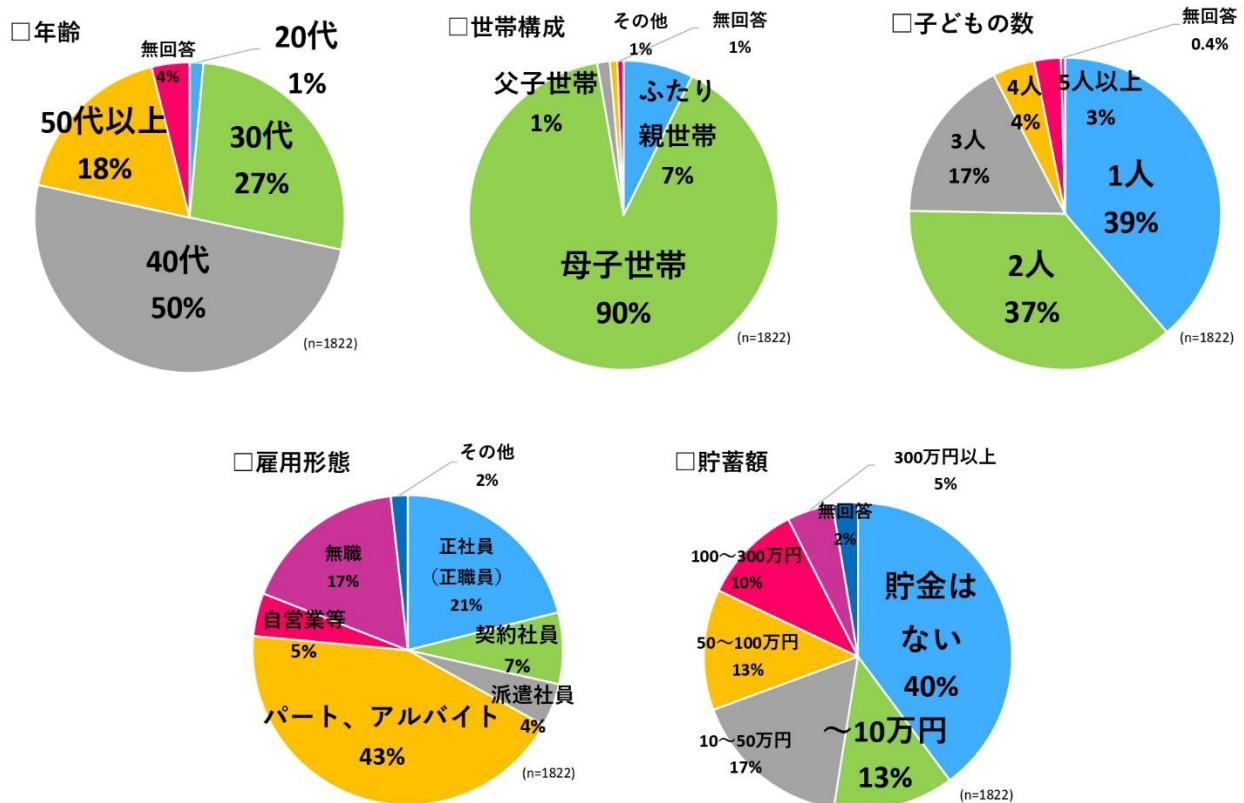
対象：キッズドア・ファミリーサポート登録世帯

調査期間：2023年11月10日～2023年11月16日

回答数：1,822件

●キッズドア・ファミリーサポートとは？ <https://kidsdoor-family-support.jp/>  
「キッズドア・ファミリーサポート」は2020年にコロナという災害に対する緊急支援という形で発足しました。現在では、困窮子育て家庭の保護者を対象に、困窮から抜け出すための物資・情報・就労支援を行っています。

回答者のプロフィール (n=1,822)

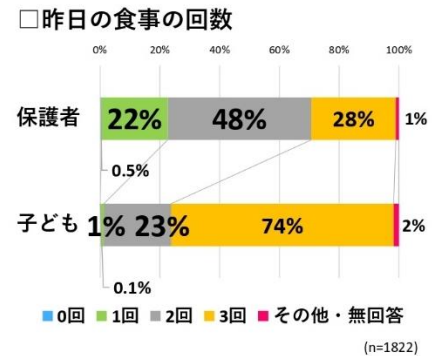
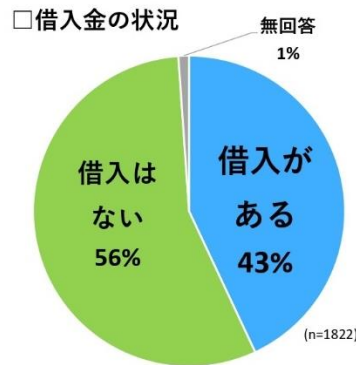
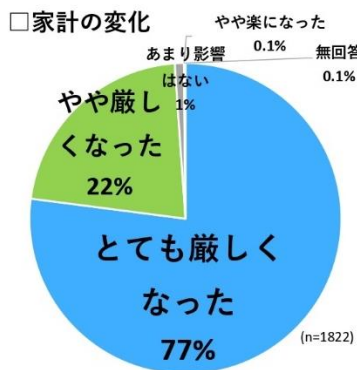


#### ■分析結果概要

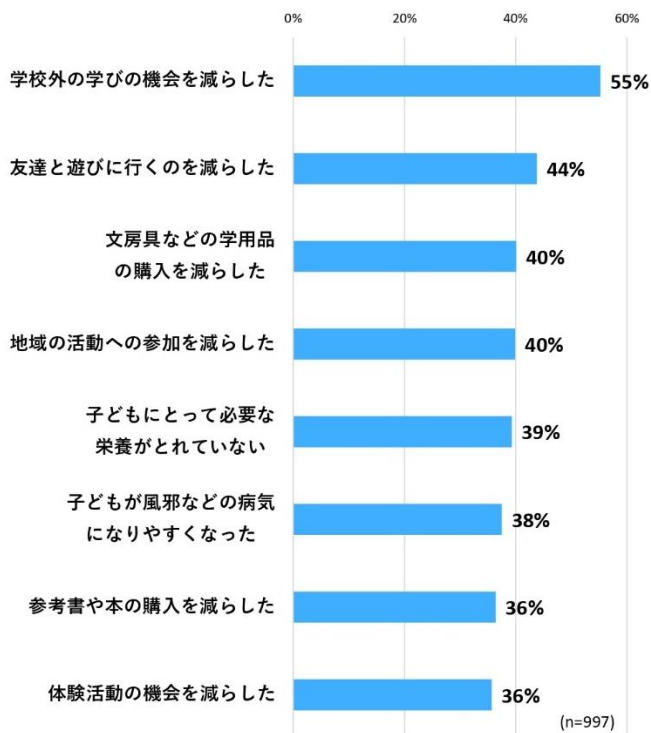
##### 1.物価高騰の影響

- 物価高騰による困窮家庭の家計や食事、子どもへの影響は以下のとおりです。
- 昨年同時期と比べて、ほとんどの家庭で家計が苦しくなっている(「とても厳しくなった」(77%)、「やや厳しくなった」(22%))。
  - 43%の家庭が「借入がある」と回答。
  - 子どもの成長や生活にも、「学校以外の学びの機会を減らした」(55%)、「友達と遊びに行くのを減らした」(44%)など深刻な影響が出ている。「体験活動の機会を減らした」という回答も36%に達した。

- 高校生世代では、「塾や予備校に行けない」(58%)、「参考書を購入できない」(39%)など学習に大きな影響が出ていることが明らかになった。「経済的な理由で志望校を諦めた」(14%)との回答も見られた。

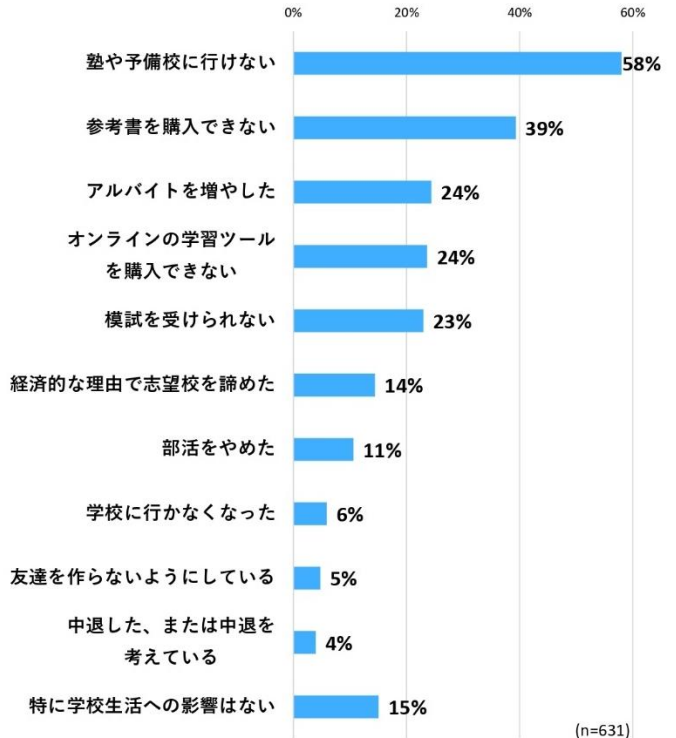


□子どもの成長や生活への悪影響 (複数回答)



\* 子どもの成長や生活について「悪影響が大いに出ている」または「悪影響が出ている」とした回答者が対象。

□物価高騰による高校生世代の学校生活への影響 (複数回答)



\* 高校生世代の子どもがいる回答者が対象。

### 物価高騰の影響に関する困窮世帯の声 (自由記述)

- お肉や野菜、調味料など色々な物が値上げしていて買えないものが多すぎます。子どもに食べさせるために自分の食べる分を減らしています。
- 新しくできたクラスのお友達と休日に遊びに行くお誘いをもらっても、経済的な理由で断っていることを知ったときは、とてもショックでした。
- 大学進学を諦めて就職希望になった。
- そもそも四大への進学を考えさせないようにし、早く資格をとって、働けるよう短大か専門でお願いした。

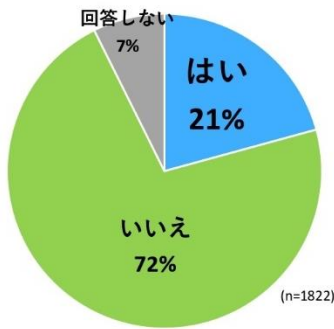


## 2.不登校の現状

困窮家庭における子どもの不登校について、以下のような現状が明らかとなりました。

- 約 2 割の家庭で子どもが不登校または不登校気味の状態にある。
- 不登校の理由では、いじめ、学校・教師・友人との関係以外に、家庭の経済状況との回答も複数あった。
- 不登校や不登校気味の子どもの日々の学習状況は「何もしていない」(52%) が最も多く、半数を超えた。
- 平日日中の過ごし方としては、約 8 割が「家にいる」(83%) と回答し、家以外の場所で過ごすとの回答はいずれも 1 割未満と低い水準にとどまった。

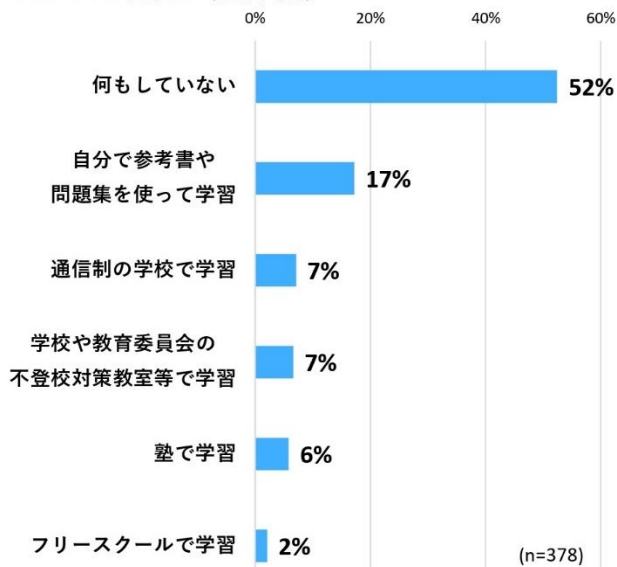
□子どもが不登校かどうか



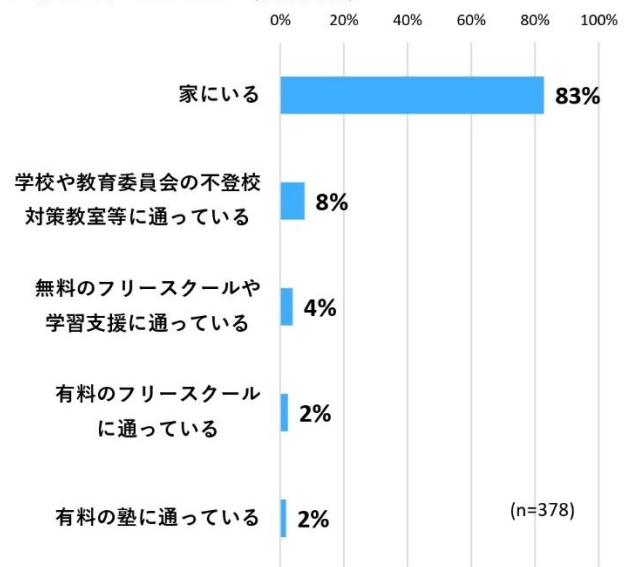
子どもが学校に行かなくなった理由 (自由記述)

- 出費を抑えている分、友達と遊びに出かけることも減り友人関係が良好で無くなった様子。
- 洋服が買えない。文房具の新しい物が買えない。朝起きられない。シングル家計だと貧乏だと思われいじめられる。
- 集金未納があり行くたびに教頭先生方に言われ、子供達の上靴外靴服を買ってあげられず、学校用品のリコーダーや体操服習字道具も買ってあげられず、恥をかいてしまうから。

□日々の学習状況 (複数回答)



□平日日中の過ごし方 (複数回答)



\* 子どもが不登校または不登校気味かとの質問に対して「はい」とした回答者が対象。

## 子どもが学校に行かなくなったことによる困りごとや不安 (自由記述)

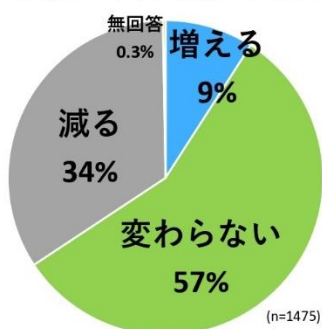
- 勉強があまりできていない、内申点が見つからないため、進路が限られてしまう。対人関係があまりできていない。本人も自信がなく将来が不安。母子家庭だとお金も時間もかけられないので申し訳ない。
- 一人残して仕事にいかなければならない。
- フリースクールが高すぎるので、無料や安価なフリースクールがあれば、子どもも通うことができます。
- 子供の居場所がもっとあったら良いと思います。公民館のような勉強ができる自習室のようなスペースが近くにあればいいなと思います。
- 子供と親の心のケア的な事があると心強いと思います。

### 3.保護者の就労と収入

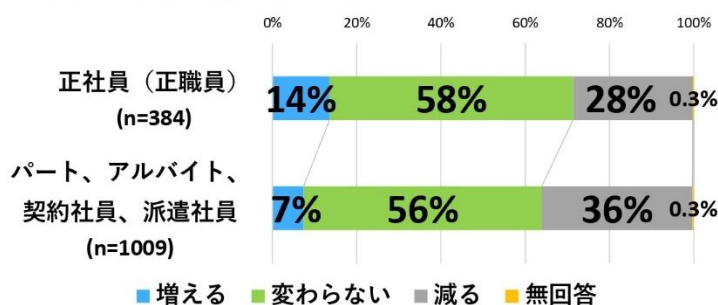
保護者の就労と収入の現状、収入増加に向けた課題は以下のとおりです。

- 2022年と比べて2023年の年収が「増える」(9%)との回答は1割程度。これに対し、「変わらない」は57%、「減る」は34%。
- 雇用形態別に見ると「増える」は、「正社員(正職員)」で14%、「パート、アルバイト」等の非正規雇用で7%である一方、「減る」は「正社員(正職員)」で28%、非正規雇用で36%と、正規雇用に比べ非正規雇用の保護者の方が、賃金上昇の流れに乗りにくく、より経済的に困窮している状況がうかがえる。
- 収入を増やす上での課題では、「子育て・介護等のためこれ以上働けない」(48%)、「より高い報酬の仕事に求められる経験・資格等がない」(47%)を挙げる回答者が多く、いずれも半数近くに達した。

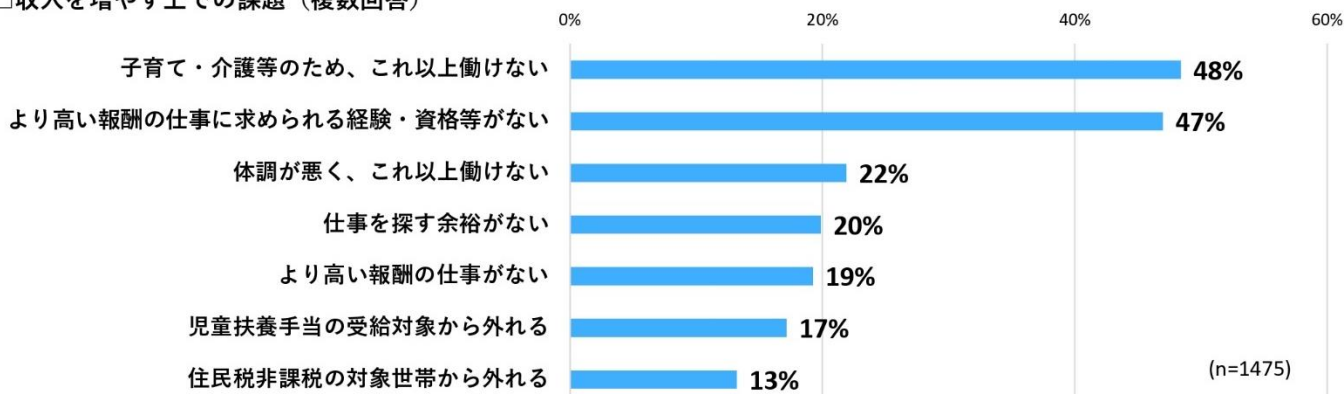
□昨年比の年収の変化(見込み)



□昨年比の年収の変化(見込み)



□収入を増やす上での課題(複数回答)



\*現在の雇用形態として、「正社員(正職員)」、「契約社員(嘱託・臨時)」、「派遣社員」、「パート、アルバイト」、「自営業・フリーランス」のいずれかを選択した回答者が対象。

#### 収入を増やすためにほしい支援(自由記述)

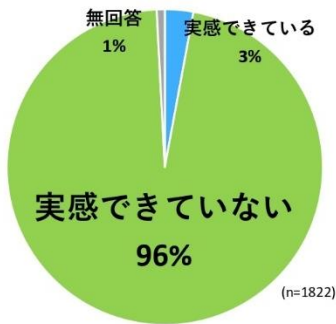
- 正社員で時短勤務ができる仕事が増えてほしいです。どうしてもまだ長い時間は働けないので、正社員になることができません。そのため収入を増やすことができていません。
- 無料で資格取得できる支援。学びの期間に生活費の援助があれば嬉しいです。
- 家賃支援。欲しいと思っている資格は、日中通学が2~3年必須。パートを辞めなければ通学も勉強も出来ない。しかしパートを辞めて無収入になると住む場所が無くなり通学が出来ない。よって欲しいと思っている資格を学ぶ事は今後も出来ない。
- 児童扶養手当の所得制限の金額をあげてほしいです。物価や最低賃金があがっているのに所得制限の金額は変化がないのでしんどいです。
- 収入を上げたいと思いつつ、収入が上がると児童扶養手当が減ってしまい、結果的に『無理して働かずに手当を貰えば良かった』と後悔してしまいます。

#### 4.政府の取組への感想

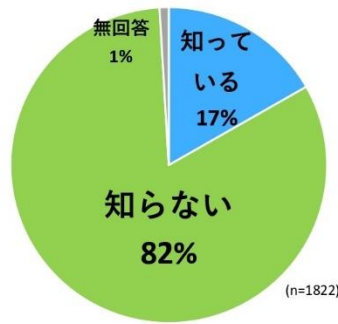
賃上げや子育てに対する政府の取組について、多くの家庭が、その効果が実感できていないという結果が得られました。

- 9割超の回答者が賃上げ政策の効果を実感できていないと回答。
- 2023年4月に発足したこども家庭庁について、その施策を「知っている」(17%)のは約2割にとどまった。
- こども家庭庁ができたことで子育てがしやすくなると思うかという質問には、否定的な回答が約6割を占めた(「そう思わない」(22%)と「全くそう思わない」(39%)の合計)。

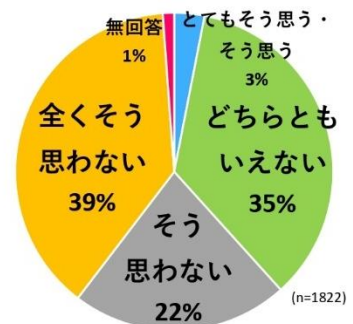
□賃上げ政策の効果



□こども家庭庁の施策の認知度



□子育てがしやすくなると思うか



#### 子育てがしやすくなると思う/思わないと回答した理由(自由記述)

- ある程度収入がある世帯は子育てしやすくなるかもしれないが、元々収入が少ない世帯はそれほど変わらないと思う。
- 支援される世帯は良くなると思うが、支援が届かない世帯もある。
- 困窮家庭への支援は何ら以前と変わらない。一番お金がかかるとされる小学生～高校生世代の支援が手薄過ぎる。

#### 5.困窮家庭が抱える課題や求める支援

食料や日用品、光熱費等に加え、今やライフラインとも言えるPCやスマホ、インターネット等のデジタル環境についても経済的な理由から不十分な状況にあるとの声が寄せられています。また、18歳以上への支援を求める声も多く、高校を卒業しても多くはまだ学生であるにも関わらず、18歳で支援が終わってしまうことが家計に大きな打撃となっていることがうかがえます。

#### 現在困っていることや支援がほしいこと(自由記述)

- パソコンが欲しいと言われるがお金がなく、購入してあげることができない。支援や給付金があればいい。
- 就学援助にWi-Fi設置費用、通信費用を加えて欲しいです。今までインターネットを使用していなかった。母親のスマホの契約ギガだけで生活できていた。学校の授業でiPadを使用するようになりWi-Fiの契約をし毎月通信費用がかかっている。
- 今の日本には先が見えないです。もっともっと子供達が大人になった時に、やりたい事を自由に学べる環境を無償にして欲しいです。進学したくても出来ないとか悲しすぎます。
- 高校生大学生への支援。正直一番お金がかかるのに政府の支援がない世代。ほんとに厳しい。
- 長男は大学生、来年から次男も専門学校生です。行政の支援は手当が終わりますが学生に変わりはなく、大学生、専門学校生まで手当が欲しいです。

## 【認定 NPO 法人キッズドアについて】

困窮家庭の小学生～高校生世代を対象に無料学習会や、勉強とともに食事等の生活支援も行う居場所型学習会を、東京とその近郊、および宮城で展開しています。

当事業を実施した「キッズドアファミリーサポート」は、コロナ禍で困窮する子育て家庭が急増したことに伴い、2020年より各種支援を行っています。

### (キッズドアの主な事業)



皆様からのご寄付・ご支援をいただくことで、こうした事業を継続することができています。

当事業においても多くのご協力のもと、支援を届けることができましたが、それぞれのご家庭・子どもたちの状況は現在も変わらないまま苦しい状況が続いていきます。継続して必要な支援を届けていくことができるよう、引き続き力強いお力添えをいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

認定 NPO 法人キッズドア 広報・ファンドレイジング部  
〒104-0033 東京都中央区新川 2-16-10 プライムアーバン新川 2 階

